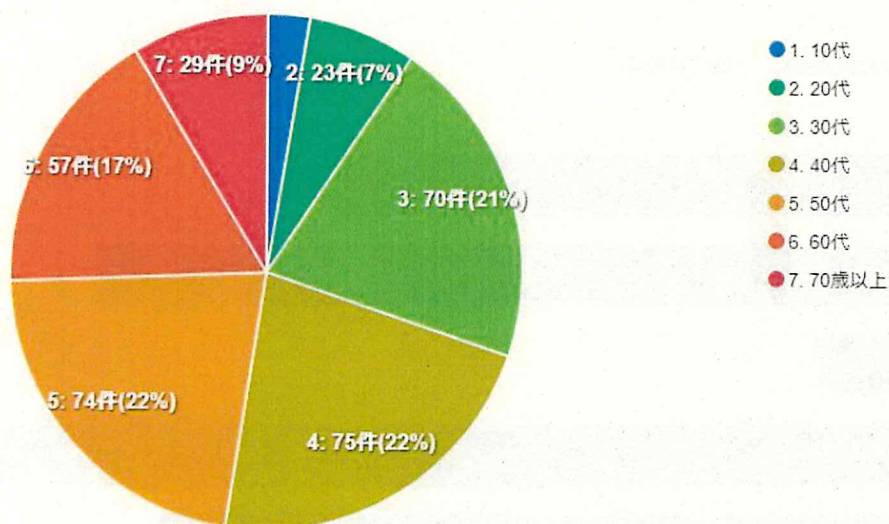


あなたが読みたい電子書籍アンケート 集計結果

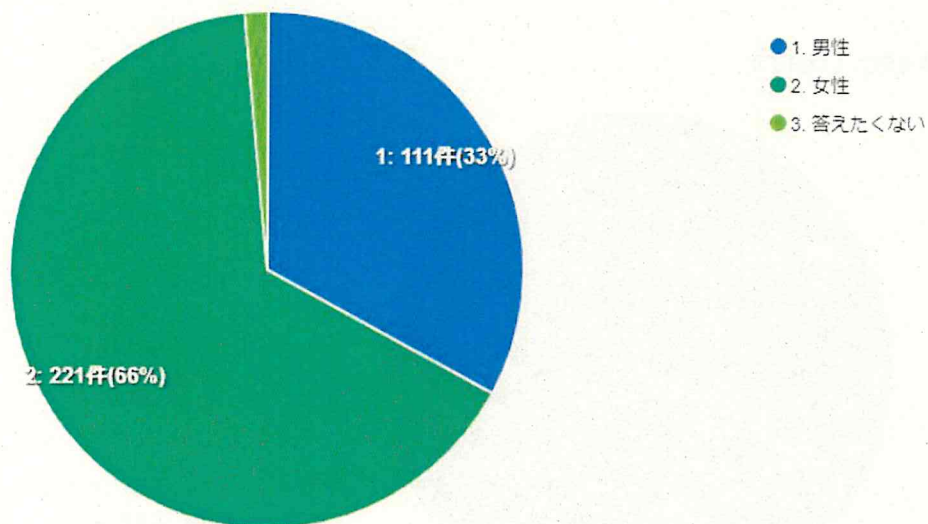
令和3年6月に導入した電子書籍サービスのさらなる充実のため、アンケートを実施しました。

実施時期：令和4年7月1日～8月21日
回答数：337名

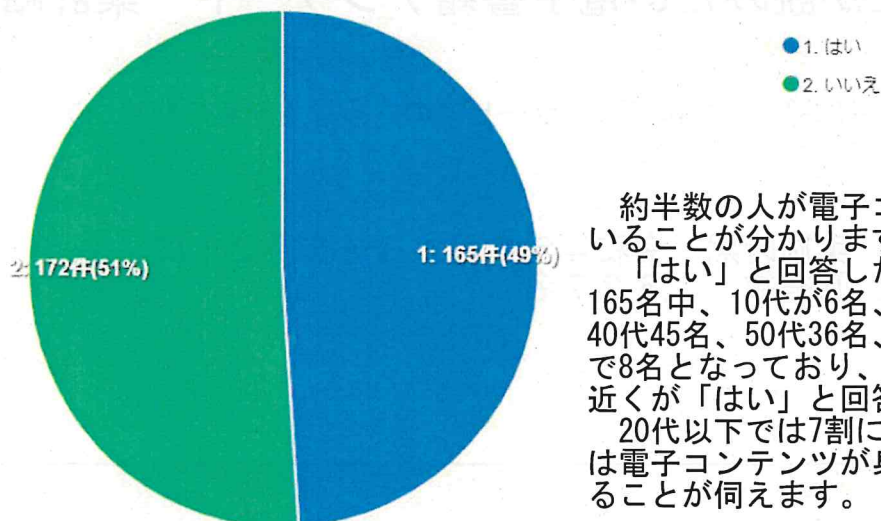
Q1 年齢を教えてください。



Q2 性別を教えてください。



Q3 直近の6か月間で、電子書籍（コミック・雑誌含む）を読みましたか？（例：Kindle、楽天kobo、ebook japan、Web小説アプリ、君津市電子書籍サービス 他）

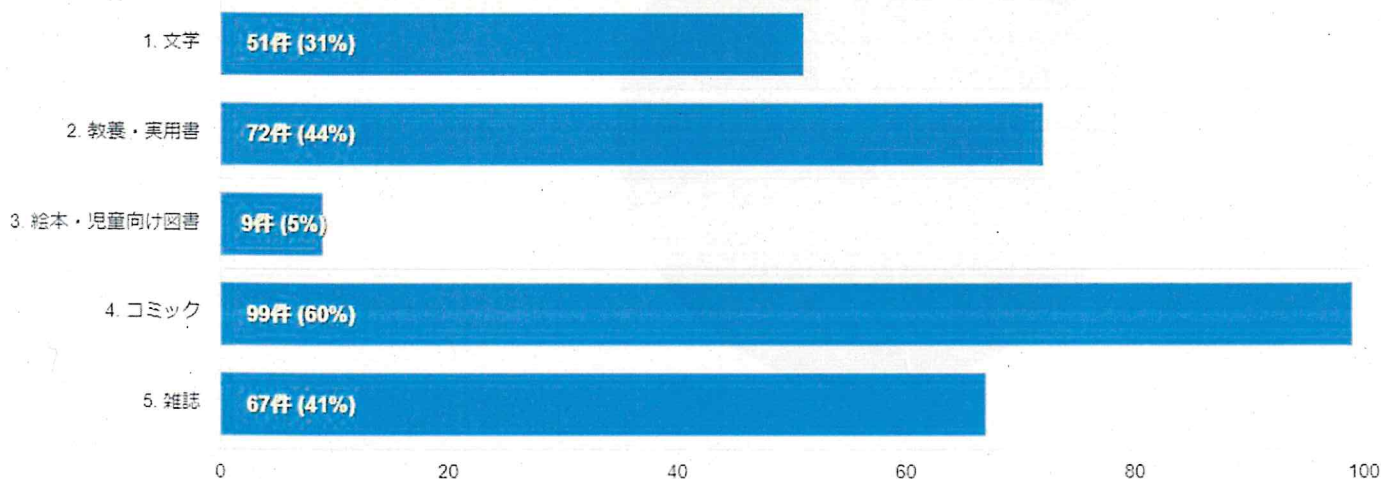


約半数の人が電子コンテンツに親しんでいることが分かります。

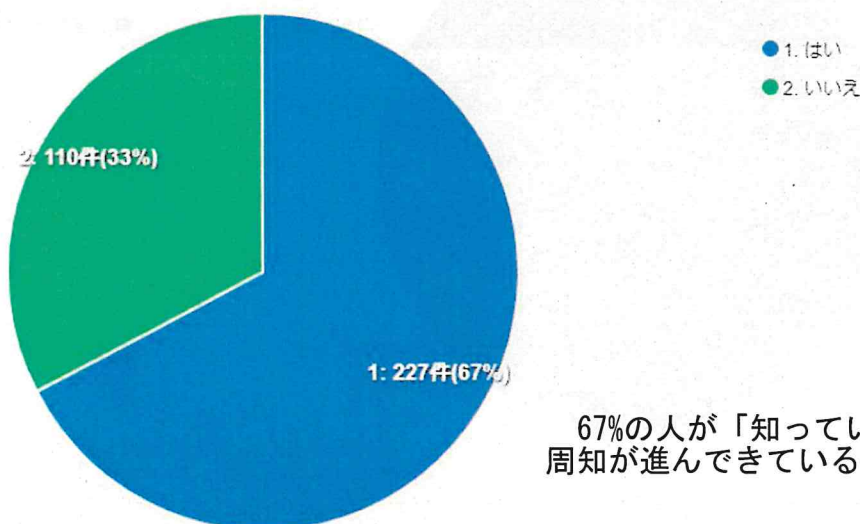
「はい」と回答した人を年代別に見ると165名中、10代が6名、20代17名、30代38名、40代45名、50代36名、60代15名、70代以上で8名となっており、50代以下の方では6割近くが「はい」と回答しています。

20代以下では7割に上り、特に若い世代では電子コンテンツが身近なものとなっていることが伺えます。

Q4 どのようなコンテンツを読みましたか。（複数選択可）

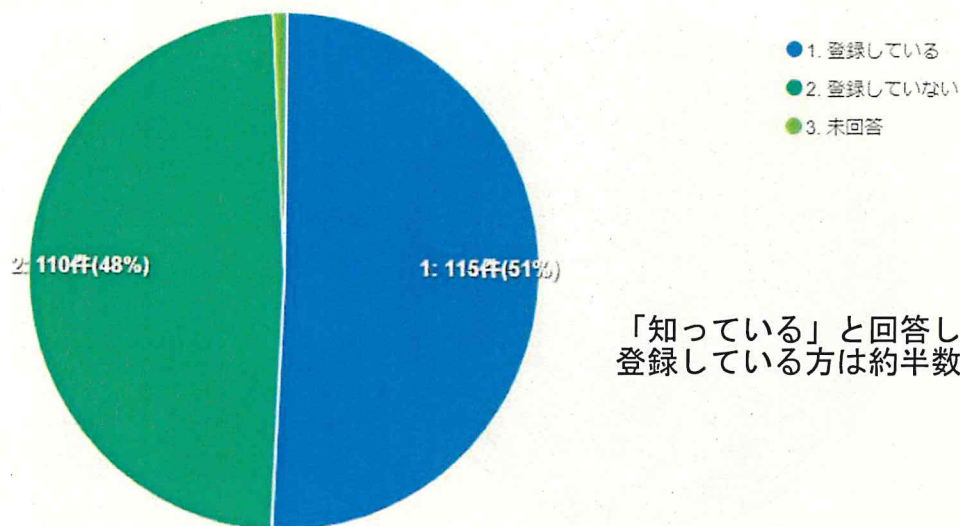


君津市電子書籍サービスを知っていますか。



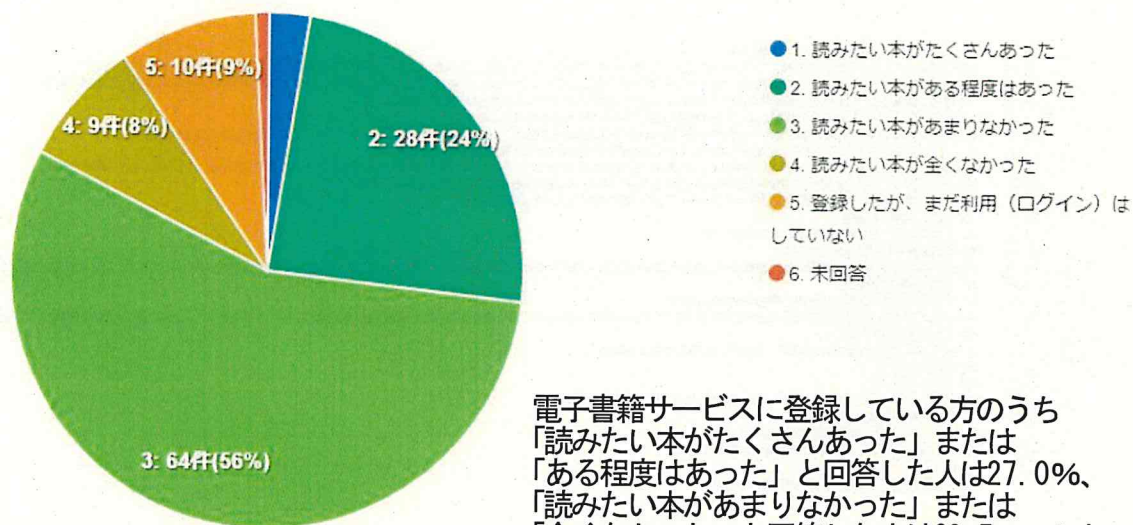
67%の人が「知っている」と回答しており、周知が進んでいることを確認できます。

Q6 君津市電子書籍サービスに登録していますか。



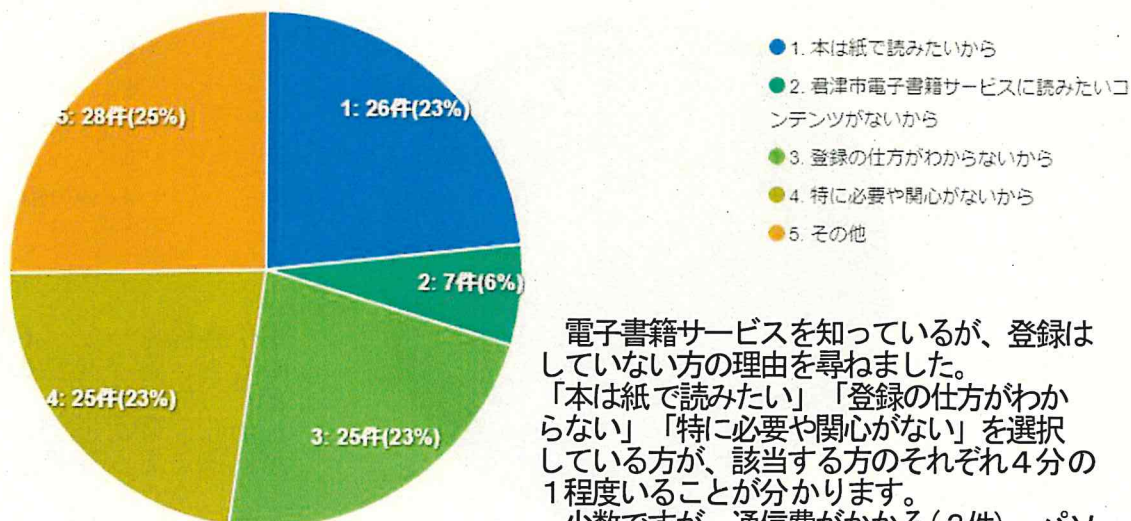
「知っている」と回答した人の中で、登録している方は約半数でした。

Q7 君津市電子書籍サービスに読みたい本はありましたか。



電子書籍サービスに登録している方のうち「読みたい本がたくさんあった」または「ある程度はあった」と回答した人は27.0%、「読みたい本があまりなかった」または「全くなかった」と回答した人は63.5%でした。コンテンツ数、また種類において課題があることが分かります。

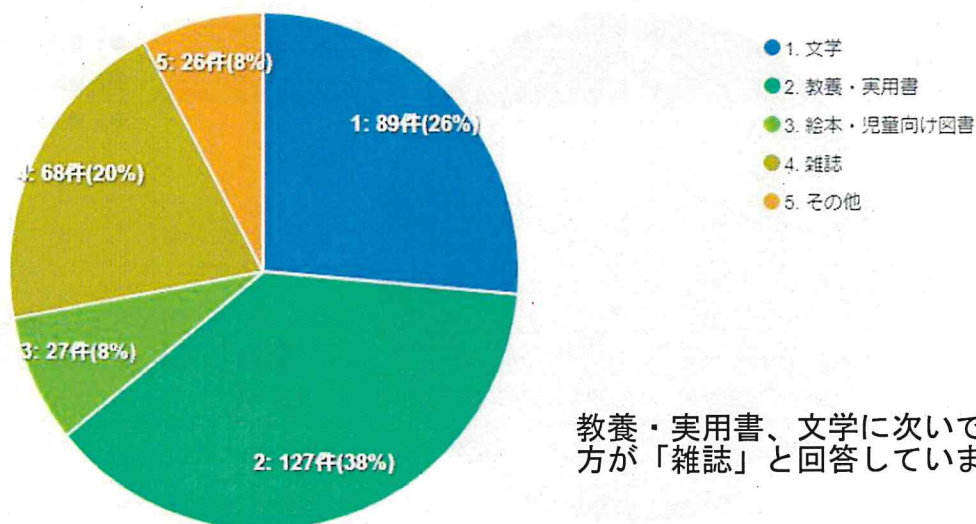
Q8 君津市電子書籍サービスの登録をしていない理由は何ですか。



電子書籍サービスを知っているが、登録はしていない方の理由を尋ねました。「本は紙で読みたい」「登録の仕方がわからない」「特に必要や関心がない」を選択している方が、該当する方のそれぞれ4分の1程度いることが分かります。

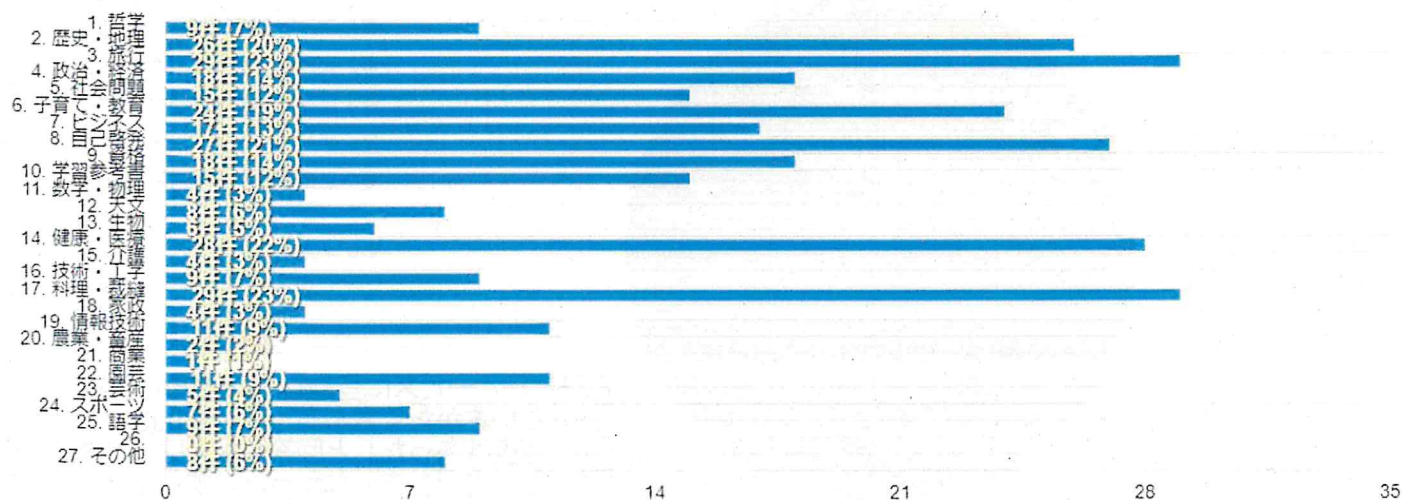
少数ですが、通信費がかかる(3件)、パソコンやスマホがない(4件)という、ハードやwi-fi等のネットワーク環境が整わないという声もありました。

Q9 電子書籍を読むとしたら、最も読みたいコンテンツは何ですか。（コミックは公共図書館向けコンテンツにないため、項目にありません。）

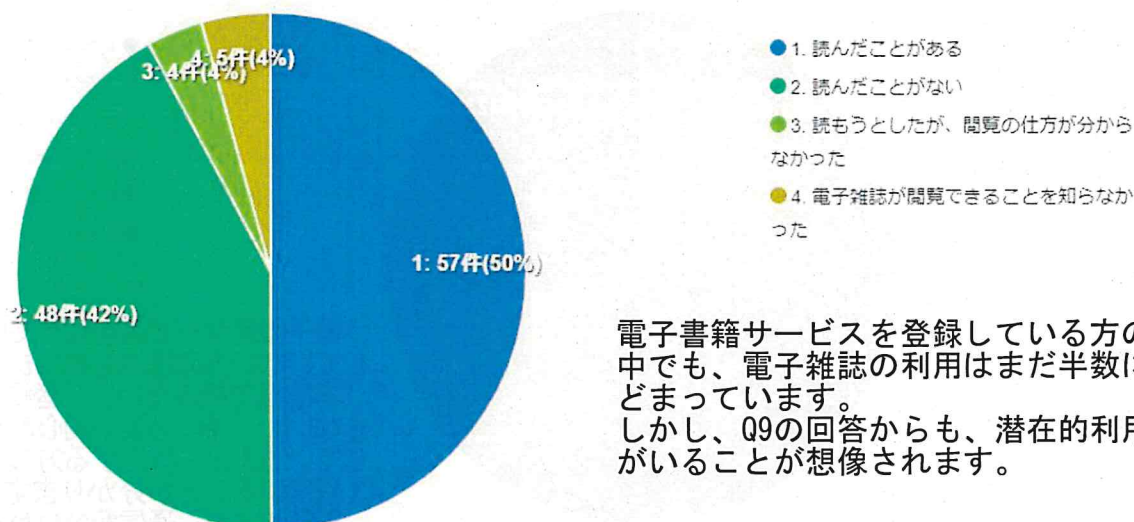


教養・実用書、文学に次いで、20%の方が「雑誌」と回答しています。

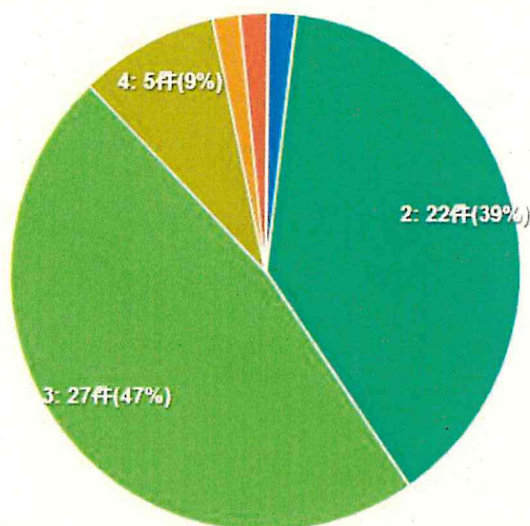
Q10 教養・実用書の中で、特に読みたいコンテンツの分野は何ですか。（複数回答可・3つまで）



Q11 君津市電子書籍サービスでは、電子雑誌の閲覧ができます。本サービスから、電子雑誌を読んだことはありますか。



電子書籍サービスを登録している方の中でも、電子雑誌の利用はまだ半数にとどまっています。しかし、Q9の回答からも、潜在的利用者がいることが想像されます。



- 1. 読みたい雑誌がたくさんあった
- 2. 読みたい雑誌がある程度はあった
- 3. 読みたい雑誌があまりなかった
- 4. 読みたい雑誌が全くなかった
- 5. 読みたい雑誌があるが、探せなかった
- 6. 未回答

「読みたい雑誌がたくさんあった」または「ある程度はあった」と回答している方が40%と、一定の評価は得られている一方、「読みたい雑誌があまりなかった」または「全くなかった」と回答している方が56%おり、より多くのタイトルが閲覧できるようになることが期待されていることがわかります。

電子コンテンツは若い年代ほど身近なツールとなってきたことが伺えますが、アンケート回答者337名のうち実際に電子書籍サービスに登録している方は115名、34%であり、決して多いとは言えません。

登録していない方の理由として、「本は紙で読みたい」という個人的嗜好の他、「登録方法が分からない」「手続きが面倒である」等があげられ、登録の仕方やその周知が課題の一つと言えそうです。

また、登録している方の評価では、「読みたい本があまりなかった」または「全くなかった」と回答した人が63.5%にのぼり、より多様なコンテンツの収集が求められていることが浮き彫りとなりました。アンケート結果を反映させた選書を行い、コンテンツの充実を図る必要があります。

電子雑誌は、回答者のうち20%が最も読みたいコンテンツに挙げており、ニーズの高さが読み取れます。一方で、実際に利用した人は登録者の半数にとどまっていることから、周知不足が考えられます。

また、自由記述の中には「君津市や千葉県の地域に関する資料を読みたい」「読みたい電子書籍の探し方が分からない」等の意見もあり、使い方の案内や市の独自コンテンツ制作も課題と言えます。

以上の結果を踏まえ、より多くの方に利用していただけるサービスを目指して充実に取り組んでまいります。

